

学校教育目標	めざす子どもの姿	総合評価
<かりがね精神> ・磨き合う知性 ・感じ合う心 ・鍛え合う身体 ・見つめ合う命	・自ら意欲的に学ぶ生徒 ・豊かな心を育む生徒 ・進んで身体を鍛える生徒 ・命を大切にす生徒	ー 最終評価（3学期）に記述 ー

○評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった

領域	評価項目 今年度の 重点目標	評価の観点	成果と課題	評価 (%)				改善策・向上策	
				A	B	C	D		
教 育	自分の考え をもち 主体的に学 ぶ授業	授業の始めに、子どもとともに学習課題を据え、板書する。	・目的をもって身体を動かせるように学習問題を設定し、板書して生徒が確認できるようにした。 ・授業の最初の確認問題をもとに生徒の立場で学習問題を設定し、見通しがもてるように工夫したが、やや時間がかかる。	36	57	0	7	・生徒の目的意識や意欲を引き出せるよう、学習問題の提示の仕方を更に工夫したい。 ・学習課題が生徒の意識に沿ったものになるよう、個々の課題をそれぞれがホワイトボードに書くなどの工夫をしたい。 ・授業や単元でつける力を明確にし、学習課題を追究できる題材の選定や、授業の進め方を更に工夫したい。	
		授業において、発表や話し合いなど自分の考えを伝え合い、学び合う場を設定しているか。	・個人追究と話し合いの時間を明確にすることで、個の考えがもてた上で話し合いに臨めるように工夫した。 ・話し合いや発表のルールの指導ができず、身につけていない面が見られた。 ・ペア作りを心がけたが、難しさも見られた。	14	43	36	7	・互いの意見をしっかりと伝え合えるように、話し合いの隊形を工夫したい。 ・発表の場面では、様々な見方や考え方に触れて自己の考えを深められるように、自己評価の仕方を工夫したい。 ・誰とでもペアやグループでの活動ができるように、日頃から人間関係づくりを進めたい。	
		授業に、振り返りの場面（自己評価・相互評価）を設定しているか。	・授業終末の自己評価を継続的に実施することができた。 ・意識はしたが、なかなか時間を確保することができなかった。 ・振り返りの良さをさらに明確にしたい。	50	21	7	21	・「できた・できなかった」だけでなく、その理由も考えるように工夫して、学び方や追究の仕方のよさを実感できるようにしたい。 ・単元や題材を通して自己評価・相互評価を蓄積し、生徒が自己の成長を実感できるようにしたい。	
	育	授業内容と結びついた、主体的な家庭学習になるよう指導しているか。	・生徒が授業内容と家庭学習とを結びつけて考えられるように、内容を工夫できた。 ・家庭学習の内容ややり方を具体的に指示することができた。 ・家庭学習の課題を自分で見つけられない生徒への支援がさらに必要だった。	18	36	36	9	・家庭学習へのコメントを大切に、個々の意欲が継続するようにしていく。 ・作業的な提出ノートではなく、授業と関連させ、個々の課題克服につながるよう、家庭学習の内容を更に工夫したい。 ・自分で課題を見つけれない生徒に対して、個別の声がけをし、その実態をもとに支援をしたい。	
		活 動	互いの違いを認め、自他共に大切に し合えるよう指導しているか。	・人権に関わる発言を聞いたときは、その場で注意することができた。 ・異なる意見を大切にとり上げるように意識し実践できた。	40	60	0	0	・自他を大切にする心を養う活動や教材を調べ、取り組みたい。 ・行事や学活、清掃などにおいて、1人1人の役割を明確にし、それぞれが責任をもって取り組めるように支援したい。 ・Q-U検査などの結果を活かして、個々を見つめたい。
			伝え合い、 認め合い、 高め合う 集団づくり	友達や考えや意見を真剣に聴けるような集団づくりをしているか。  集団の一員として、自主的・自律的行動ができるよう指導しているか。	・継続的な姿勢づくりの努力ができた。 ・聴く姿勢の弱いときは声がけをしているが、聴く力を育てるには時間がかかると感じている。  ・自主的に判断し、行動する姿を意識して見つけ、認め、励ますことができた。 ・特別支援の生徒達が、集団の一員として位置づくよう努力することができた。	38	50	13	0
	学 校 運 営	家庭や地域 と連携した 学びの場の 創造	望ましい生活習慣が身につくよう指導しているか。	・朝の入室や食事などでより良い行動を促す声がけができ、生徒も素直に聴くことができていた。 ・1度の指導では、生徒に変化は見られないことがあった。 ・就寝時間が遅くならないように、メディアの使い方を見直す指導が必要である。	44	44	13	0	・休日の行動など、事前に予想できる場面では、声がけをしたい。 ・生徒に対する教師の指導方法を、生徒の実態に合わせていく事を心がけたい。また、結果をあせらず、認める面を持ちながら継続的に改善を願っていく姿勢をもち続けたい。 ・SNSの使い方に対する視覚的な授業を、学年単位で工夫して行いたい。
			命を大切にすよう指導しているか。	・命をテーマに実践を伴った学習となるように、健康教育の単元を工夫できた。	56	38	6	0	・健康教育や園芸のサルビア作りの活動を更に充実させ、命の大切さを深く学べるようにしたい。
		運 営	時間を大切に部活動に参加できるように指導しているか。	・平日2時間、休日3時間を守り、生徒の健康を考えながら充実した活動ができた。	57	29	14	0	・時間やルールの大切さを実感できるように、部活動での指導を更に充実させたい。
			保護者と願いを共有した学校づくりに努めているか。	・支援会議や懇談などで保護者の願いを丁寧に聞き、生徒への支援を工夫することができた。	43	50	7	0	・保護者と密で細やかに連絡をとる姿勢をさらに大切に、保護者と生徒の願いに沿った支援ができるようにしたい。
運 営	地域と連携した 学びの場の 創造	地域と連携し、生徒に地域愛や地域活動力が育つよう努めているか。	・地域が計画したボランティアなどの活動に、多くの生徒が自主的に参加できた。 ・食育の授業で、地域のよさを知る活動を、今年も実践することができた。	43	36	21	0	・総合的な学習の時間や、ボランティア活動など、地域との連携を深める活動を更に大切にしていきたい。 ・食育で学んだ地域食材の素晴らしさをはじめ、真田地域・上田市・長野県のよさを実感できる活動を実践したい。	
		地域に開かれ、地域に信頼される学校づくりに努めているか。	・サルビア作りや「かりがね祭」などを通して、真田中の良さを発信し、地域に信頼される学校を目指すことができた。	29	50	21	0	・様々な機会を大切にするとともに、あいさつの向上につとめ、地域の信頼が深まるように心がけたい。 ・登下校時や公共の場での指導も更に大切に、学校外でもルールやマナーを守れるようにしたい。	
運 営	小学校と連携した教育を進めているか。	・小学校が3つあり、具体的な連携教育の工夫の難しさを感じる。 ・人権感覚など、課題と目的を共有した道徳教育の必要性を感じている。	13	40	40	7	・授業研究や校内研修への相互参加など、小中が関わる機会を設け、情報交換や課題共有の場としたい。		